

提出 東京鐵工組合

説明者 小川 帝三郎

理由

第五十九議會開会に先立ち、社會局が所謂社會局案なるものを發表するや、資本案階級は労働組合に對して凡ゆる手段を以て中傷譏刺をなし猛烈に法案撲滅運動を開始した。我等は社會局案の大修正を要求し資本案階級の反對運動に對抗して激烈なる闘争をしたのである。この労働組合法案を中心とする労資の闘争は全國凡ゆる階級の視線を集め政府の態度如何とばかり注視されたのである。

然るに民政党内閣は遂に資本案の強請に抗し兼ねて法案は遂に骨抜き案となり死産となつた。我等は労働組合の健全な發展引いては我國家社會の前途の爲め完全なる労働組合法獲得の爲めに如何なる犠牲を拂つても取らねばならない。

決議案 (第一)

我等は、政府が労働組合法制定にあたり、産業を獨専し私利私欲の爲めに労働階級を奴隸化し國家社會の前途を危くする頑迷固陋の資本案階級の反對を一掃し労働者の當然の權利たる團結權罷業權を確保したる労働組合法を即時制定せん事を要求す。

右決議す

日本労働總同盟
關東労働同盟會第八回大會

決議案 (第二)

日本労働總同盟
關東労働同盟會第八回大會

十年間繼續組員表彰の件

提出 東京鐵工組合

説明者 田中 芳太郎

組員員の繼續年限の短きは我國労働組合の大なる欠陥であつたが、近來我が關東労働同盟會所屬の組員が相當永く繼續されつゝある事實は我が同盟會及各組合の基礎の漸次確立されつゝある實證である。我等は斯く多年組合の發展に協力したる人々に團體として表彰すべきであると信じ我が總同盟の創立二十週年を紀念として本案を提出したものである。

本大會は表彰委員會を設置して同三ヶ月以内に一切の方法を決定する事。

失業者即時救済に關する件

提出 東京鐵工組合

説明者 佐藤 信之助

決議

民政党内閣の誤れる緊縮政策と資本案階級の不合理なる産業合理化は徒らに我等労働階級を犠牲にし失業の巷にあまぐ我等の同胞二百萬の多きに迷せんとす。今や失業不安は全國に漲り、失業不安より生ずる反社會的、反人道的犯行は益々激増しつゝある。我等は之が救済は刻下の急務にして其の一部の責任は歸して政府當局にある事を斷言す。我等は政府が此の失業大恐慌時にあたりブルジョア階級に對して特別税を課し以つて失業者